



枠を超えた、知の冒険

国立大学の研究所・センターは、
理学・工学、医学・生物学、人文・社会科学などをリードする
最先端研究に取り組んでいます。
最先端研究の現場での学生教育、若手研究者支援にも
熱意をもって取り組んでいます。

2025

国立大学附置研究所・センター会議
国立大学附置研究所・センター部会別一覧



国立大学附置研究所・センター会議

<http://www.shochou-kaigi.org/>



Web連載インタビュー

「未踏の領野に挑む、知の開拓者たち」

<http://shochou-kaigi.org/interview/>



●お問い合わせ

京都大学 数理解析研究所

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 TEL075-753-7202 FAX075-753-7272

Message 2025年度会長挨拶

「国立大学附置研究所・センター会議」の2025年度会長を務めることになった、京都大学数理解析研究所の大木谷耕司と申します。就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本会議は、国立大学が法人化された平成16年度（2004年度）に「文部科学省所轄並びに国立大学附置研究所会議」を継承して発足しました。2025年4月現在、全国の35国立大学法人に設置された110の附置研究所と研究センターで構成されています。

国立大学の附置研究所およびセンターは、それぞれが日本の学術研究の様々な分野をリードすることを使命として、先端的研究課題や多様な学際的研究、長期的な視野に基づく基礎研究などに取り組んでいます。また、その多くが共同利用・共同研究拠点として、国内外の研究者コミュニティに開かれた研究支援体制を整備し、研究の基盤ならびに共同研究の機会を提供することによって、個々の大学の枠を超えてわが国の学術研究を支えています。さらに、先端研究の場を学生や若手研究者に積極的に開放し、次世代研究者の育成にも大いに貢献しています。

本会議はこれまで、わが国の学術研究の発展に資する重要な提言や要望を発信し続けてきました。また、各研究所・センターのユニークな研究活動をウェブサイト等で紹介するとともに、公開シンポジウムを開催することによって情報発信にも力を入れています。今後さらに「研究活動の見える化」を推進することにより、附置研究所・センターが担っているそれぞれの学問分野における研究の動向を、広く皆様に知っていただきたいと思います。

私たちは、附置研究所・センターがわが国の学術研究の中核としての役割を担っていることを強く認識し、引き続きその発展に貢献したいと思います。皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2025年度会長
京都大学
数理解析研究所

大木谷 耕司 所長

第一部会の活動

Science and Technology

1

①グリーンランドで氷と動物たちの音を聴く

音響モニタリングによって急速に変化する北極圏のような、地球上で最も人里離れた、あまり知られていない場所の目に見えないものを「見る」ことができます。私たちは陸上と水中に設置した地震計とマイクロホンを使い、グリーンランドの氷と動物たちの声を聴くことによって、氷の力学、固有種の行動、そして人間の活動について洞察を得ることに取り組んでいます。
(北海道大学 北極域研究センター)

②宇宙・素粒子を宇宙線で解き明かす

宇宙からは目には見えない高エネルギーの荷電粒子、ガンマ線、ニュートリノ、暗黒物質、重力波などが飛来しています。宇宙線研究所は、ニュートリノ観測などを行う

Super-Kamiokande(次世代のHyper-Kamiokandeも建設中)と重力波望遠鏡KAGRAを岐阜県飛騨市に、最高エネルギー宇宙線を狙うTelescope Arrayを米国ユタ州に、銀河系内からの超高エネルギー宇宙線を観測するTibet ASγとALPACAをチベットとボリビアに、ガンマ線を観測するCherenkov Telescope Arrayをスペイン・カナリア諸島に展開し宇宙や素粒子の謎に挑んでいます。
(東京大学 宇宙線研究所)

③先端繊維工学・学術で産業と社会を支える

先端繊維工学・学術から発現されるナノサイズ構造体・ファイバー特有の機能を利用して、医療、バイオ、環境、エネルギー、エレクトロニクス各分野に適用可能なさまざまな機能性繊維材料を開発しています。これらの社会実装を推進し、高性能で地球にやさしい産業技術の創出と、健全で便利な社会・生活基盤の構築に貢献します。
(信州大学 繊維科学研究所)

④材料化学で挑む次世代太陽電池

材料の溶液を塗って作製できるペロブスカイト太陽電池が、軽量・フレキシブルで高性能な次世代太陽電池として期待を集めています。我々は、材料化学の視点からの物質合成と物性評価基礎研究を通して、高品質な塗布型半導体材料

の開発とその製造プロセス技術開発に取り組み、この太陽電池の高性能化と実用化に挑んでいます。
(京都大学 化学研究所)

⑤摩擦攪拌現象を利用した新たな金属積層造形技術(3Dプリンティング)

金属積層造形は新たなものづくりの技術として注目されています。積層造形技術の普及には、信頼性と効率の向上が不可欠です。摩擦熱は効率よく局所加熱できる熱源であり、摩擦攪拌現象は材料を溶かすことなく高速で造形を行うことを可能にします。次世代のものづくり技術確立させるために、摩擦攪拌現象を利用した新たな金属積層造形技術の開発を行っています。
(大阪大学 接合科学研究所)

⑥半導体で環境に優しい社会へ貢献

半導体は、様々な製品に使用されており必要不可欠なものになっています。私達は半導体産業技術に関する研究を行っています。新しい半導体生産方式の研究、新材料・新構造のデバイスの実現、それらデバイスが使用されるAI技術、通信技術の高性能化を通じて、省エネルギーで環境に優しい社会作りに貢献していきます。
(広島大学 半導体産業技術研究所)

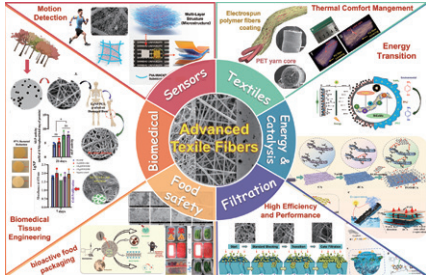
1



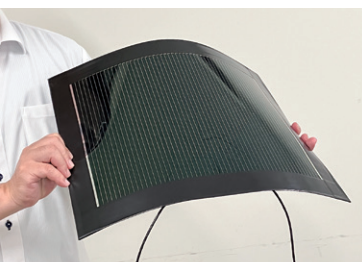
2



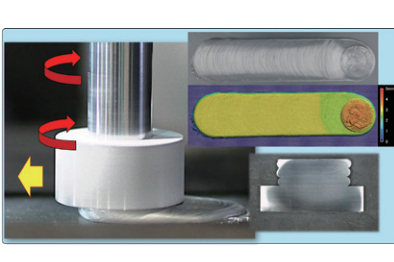
3



4

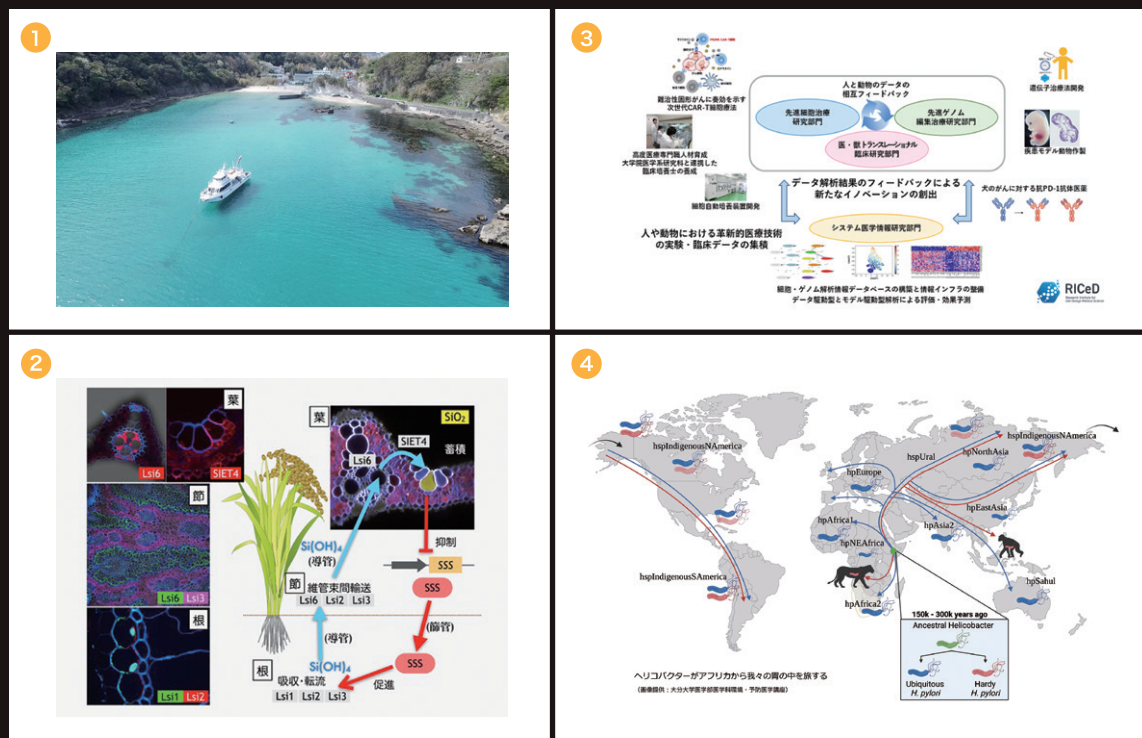


5



6





①沿岸域の生命と環境を解き明かす

未来の海と人間社会の持続可能な開発目標に資するため、沿岸域を舞台に分子生物学、生態学、環境学を融合した研究を展開しています。多様な海洋生物の生命現象を分子レベルで解明するのみならず、生物と環境の相互作用、特に海洋酸性化や気候変動が生態系へ及ぼす影響を解析し、「豊かな海を守る」ことを目指しています。
(筑波大学 下田臨海実験センター)

②イネのケイ素吸収・分配・蓄積とその制御

イネは様々なストレスから身を守るため、ケイ酸 $[\text{Si}(\text{OH})_4]$ を吸収しシリカ (SiO_2) として葉の表面などに蓄積します。馬教授の研究グループは、ケイ酸の根での吸収、節での分配、葉での蓄積、各過程に関わる多くの輸送体を同定する一方、地上部から根に移動しケイ酸吸収を制御するシグナルタンパク質SSSを突きとめ、ケイ素の吸収から蓄積に至る分子機構の全貌を解明しました。
(岡山大学 資源植物科学研究所)

③細胞デザイン技術が創る未来の医療

最先端の細胞改変技術やゲノム編集技術の研究を推進し、さらに近年のデータ科学の解析技術を駆使することで、がんや遺伝子病などの難治性疾患の治療法開発に取り組めます。また、得られた成果をヒト医療のみならず伴侶動物の医療にも展開し、その知見を相互にフィードバックする好循環を生み出します。これにより、人と伴侶動物が健康で長生きし、共生する社会の創生を目指します。
(山口大学 細胞デザイン医科学研究所)

④ゲノムから人類の移動の歴史を読み解く

ピロリ菌、ロタウイルスなど消化器感染症、狂犬病やSFTSなどワンヘルス疾患の国内外フィールドやバイオリソースを活用した研究を推進しています。世界中から収集した約7,000のピロリ菌のゲノムを解析することで、ピロリ菌が人類の移動と共にダイナミックに進化していく歴史を明らかにしました。
(大分大学 グローバル感染症研究センター)

第二部会の活動 Medical and Biology

2

第三部会の活動

Humanities and
Social Science

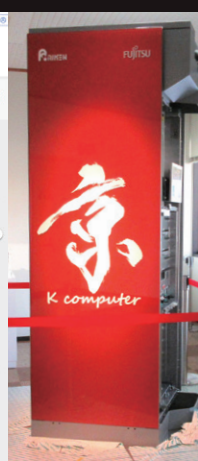
3

①対話を通じたアジア研究の革新

アジアの日本研究者と日本のアジア研究者の交流を進め、相互に刺激を与えるJF-GJSイニシアチブ(国際交流基金との共同事業)と、グローバルな諸問題に対してアジアの現実に根差した発信をするGASイニシアチブ(東文研の独自事業)を運営することで、対話を通じたアジア研究の革新を目指しています(写真は国際交流基金提供)。
(東京大学 東洋文化研究所)

②新しい社会科学「計算社会科学」を国際的に推進

本センターが2018年に創刊した計算社会科学初の国際査読誌「Journal of Computational Social Science」は、2023年にインパクトファクター3.2を獲得し、分野を代表する学術誌として国際的に高く評価されている。さらに、本センターでは、大学院生・研究者向けYouTubeチャンネル「CCSS School」を運営し、理化学研究所から譲渡されたスパコン「京」の1筐体も展示している。
(神戸大学 計算社会科学研究センター)





2025年度 第1部会長
東京大学 先端科学技術研究センター所長
杉山 正和

- 1 北海道大学 低温科学研究所 (○)
低温、寒冷圏、水・物質循環、雪氷、宇宙物質、生物環境、環オホーツク
<https://www2.lowtem.hokudai.ac.jp/>
- 2 北海道大学 電子科学研究所 (○)
光・物質・生命・数理に跨る複合領域科学、物質科学、光科学、生命科学、数学・数理科学
<https://www.es.hokudai.ac.jp/>
- 4 北海道大学 触媒科学研究所 (○)
触媒、表面化学、電極表面、光触媒、炭素資源変換、有機材料、高分子、触媒理論化学、実用化基盤技術開発
<http://www.cat.hokudai.ac.jp/>
- 7 北海道大学 北極域研究センター
北極域、大気圏・水圏、陸圏、雪氷圏、環境工学、人文社会科学、衛星観測・モデリング
<https://www.arc.hokudai.ac.jp/>
- 10 東北大学 金属材料研究所 (※)
材料物性、材料設計、物質創製、材料プロセス・評価、エネルギー材料、社会基盤材料、エレクトロニクス材料
<http://www.imr.tohoku.ac.jp/>
- 12 東北大学 流体科学研究所 (○)
流体、流動、統合流動科学、環境・エネルギー、ナノ・マイクロ、健康・福祉・医療、宇宙航空、融合研究
<https://www.ifs.tohoku.ac.jp/>
- 13 東北大学 電気通信研究所 (○)
計算システム基盤、情報通信基盤、人間・生体情報システム、ナノエレクトロニクス・スピントロニクス、ブレインウェア、サイバー・リアル空間
<https://www.riec.tohoku.ac.jp/>
- 14 東北大学 多元物質科学研究所 (○)
有機・無機ハイブリッド材料、生命科学、プロセスシステム・デバイス工学、先端計測技術開発、ソフトマテリアル、ネットワーク型共同研究拠点
<https://www2.tagen.tohoku.ac.jp>
- 15 東北大学 災害科学国際研究所
東日本大震災、災害科学、復興・学際的研究、実践、仙台防災枠組 2015-2030、防災コミュニケーション、被災者
<https://irides.tohoku.ac.jp/>
- 17 東北大学 先端量子ビーム科学研究センター (○)
1.3 GeV 高エネルギー電子シンクロトロン、60 MeV 大強度電子直線加速器、電子光ビーム、ハドロン物理、原子核物理、放射化学、ビーム物理
<https://www.raris.tohoku.ac.jp>
- 18 東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター
放射光科学、次世代計測科学、材料科学、物質組成構造解析、ナノサイエンス、量子ビーム
<https://www.sris.tohoku.ac.jp/>
- 19 筑波大学 計算科学研究センター (○)
学際計算科学、計算機科学、スーパーコンピュータ
<https://www.ccs.tsukuba.ac.jp/>
- 21 筑波大学 放射線・アイソトープ地球システム研究センター (○)
福島第一原子力発電所事故、放射能、アイソトープ、環境、水循環
<https://www.ied.tsukuba.ac.jp>
- 25 千葉大学 環境リモートセンシング研究センター (○)
リモートセンシング、地理情報、大気環境、陸域環境、気候変動、モデル統合
<https://ceres.chiba-u.jp/>
- 27 東京大学 地震研究所 (○)
地震、火山噴火、津波、地球内部構造、計算地球科学、自然災害、観測固体地球科学
<https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/>
- 30 東京大学 生産技術研究所
工学全般(基礎系、機械・生体系、情報・エレクトロニクス系、物質・環境系、人間・社会系)、産学連携、国際連携、地域連携
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>
- 33 東京大学 宇宙線研究所 (※)
ニュートリノ、暗黒物質、重力波、ガンマ線、宇宙線、マルチメッセンジャー天文学
<https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/>
- 34 東京大学 物性研究所 (○)
物性科学、物性理論、量子物質、機能物性、ナノサイエンス、量子ビーム、強磁場、光科学、計算物質科学
<https://www.issp.u-tokyo.ac.jp/>
- 36 東京大学 先端科学技術研究センター
材料、情報、環境・エネルギー、生物医化学、バリアフリー、社会科学
<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/>
- 37 東京大学 素粒子物理国際研究センター (○)
素粒子物理、CERN LHC-ATLAS実験、PSI MEG実験、国際リニアコライダーILC、陽子・陽子衝突、ヒッグス粒子、超対称性理論、統一理論、量子AIテクノロジー
<https://www.icepp.s.u-tokyo.ac.jp/>
- 38 東京大学 空間情報科学研究センター (○)
GIS、時空間解析、時空間センシング、空間データ基盤
<https://www.csis.u-tokyo.ac.jp/>
- 40 東京科学大学 総合研究院 フロンティア材料研究所 (○)
新奇材料創出、材料設計・開発、ナノ材料・デバイス、建築構造・材料、耐震・制御
<https://www.msl.titech.ac.jp>
- 41 東京科学大学 総合研究院 化学生命科学研究所 (○)
ケミカルバイオロジー、超分子化学、機能性高分子、錯体化学、計算化学、 π 電子系分子、サブナノ粒子、水素・燃料電池材料、DDS、代謝制御
<http://www.res.titech.ac.jp>
- 42 東京科学大学 総合研究院 未来産業技術研究所 (○)
知能化学、情報イノベーション、電子機能システム、量子ナノエレクトロニクス、フォトリソ集積システム、マイクロフルイディクス、ものづくり基盤技術・社会実装、先端材料、異種機能集積、応用AI、生体医歯工学、知的材料デバイス、トライボロジー
<https://www.first.iir.titech.ac.jp>
- 43 東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所 (○)
バイオマテリアル、医療デバイス・システム、生体機能分子、生体医歯工学
<https://www.tmd.ac.jp/ibb/>
- 44 東京科学大学 総合研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所
カーボンニュートラル、グリーン・トランスフォーメーション、原子力エネルギー、安全炉、放射線応用、炭素・物質循環、エネルギー貯蔵、核融合、原子力材料・応用
<https://www.zc.iir.isct.ac.jp>
- 48 新潟大学 災害・復興科学研究所
自然災害科学、豪雪、極端気象、地震、噴火、土砂・洪水災害、複合連動災害、減災対策、復興、危機管理
<https://www.nhdr.niigata-u.ac.jp/>
- 51 金沢大学 環日本海域環境研究センター (○)
越境汚染、国際共同研究拠点、統合環境研究、有害化学物質、大気観測スーパーサイト、低レベル放射能計測
<http://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/>
- 52 信州大学 繊維科学研究所
機能高分子創出、天然繊維材料、新規繊維材料・応用研究、繊維生産技術、スマートテキスタイル
<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/ifes/>
- 53 静岡大学 電子工学研究所 (○)
イメージングデバイス、ナノエレクトロニクス、ナノフォトニクス、ナノマテリアル
<https://www.rie.shizuoka.ac.jp/>
- 54 静岡大学 グリーン科学技術研究所
グリーンエネルギー、グリーン分子、グリーンAI、固体材料、新エネルギー、分子化学、機能化酵素、フェアリー
<https://green.shizuoka.ac.jp/>

56 名古屋大学 未来材料・システム研究所 (○)
革新的省エネルギー技術、高度計測技術、次世代半導体材料・デバイス、持続可能な社会のためのシステム技術
<https://www.imass.nagoya-u.ac.jp>

57 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 (※)
太陽地球系科学、宇宙線、太陽、太陽風、電磁気圏、超高層大気、気象学、海洋学、水循環、地球表層、鉱物学、考古学、年代測定
<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/>

60 京都大学 化学研究所 (※)
化学、元素科学、物性科学、生物・情報学、ビーム科学、および学際プラットフォーム
<https://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp/>

61 京都大学 エネルギー理工学研究所 (○)
ゼロエミッションエネルギー、プラズマ・量子エネルギー、ソフトエネルギー、核融合エネルギー利用、高効率太陽光エネルギー利用、バイオリファイナリー、カーボンネガティブエネルギー
<https://www.iae.kyoto-u.ac.jp/new-iae/>

62 京都大学 生存圏研究所 (○)
生存圏科学、環境診断・循環機能制御、太陽エネルギー変換・高度利用、宇宙生存環境、循環材料・環境共生システム、高品位生存圏
<https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/>

63 京都大学 防災研究所 (○)
防災学、減災学、災害学理、自然災害科学、地震災害、火山災害、地盤災害、気象災害、水災害、総合防災
<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp>

64 京都大学 基礎物理学研究所 (※)
素粒子論、原子核理論、物性理論、宇宙論、量子情報理論
<https://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/>

66 京都大学 数理解析研究所 (※)
数学、数理科学
<https://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/ja/>

67 京都大学 複合原子力科学研究所 (○)
研究用原子炉、加速器、原子力工学、粒子線・放射性同位元素、放射線科学、複合原子力科学
<https://www.rrri.kyoto-u.ac.jp/>

74 大阪大学 産業科学研究所 (○)
情報科学、量子科学、材料科学、ビーム科学、生体科学、分子科学、ナノテクノロジー、AI
<https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/>

77 大阪大学 接合科学研究所 (○)
接合科学、分離科学、積層造形技術、ものづくり基盤技術
<https://www.jwri.osaka-u.ac.jp>

78 大阪大学 レーザー科学研究所 (○)
レーザー科学、プラズマ科学、高エネルギー密度科学、レーザー核融合科学
<https://www.ile.osaka-u.ac.jp/ja/index.html>

79 大阪大学 核物理研究センター (※)
原子核物理学、ハドロン物理学、加速器物理学、計算物理学、量子ビーム応用
<https://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/>

84 岡山大学 惑星物質研究所 (○)
地球惑星物質科学、惑星深部ダイナミクス、高温高压実験、鉱物・マグマ物性、主要・微量元素分析、同位体分析、年代測定、アストロバイオロジー、リモートセンシング
<https://www.misasa.okayama-u.ac.jp/>

85 岡山大学 異分野基礎科学研究所
数理科学、量子宇宙、光合成・人工光合成、進化・構造生物学、錯体化学、超伝導、有機エレクトロニクス・材料科学、理論化学
<http://www.riis.okayama-u.ac.jp/>

88 広島大学 半導体産業技術研究所 (○)
ナノデバイス、半導体生産方式、集積回路、バイオ融合、ビックデータサイエンス
<https://www.rise.hiroshima-u.ac.jp/>

89 広島大学 放射光科学研究所 (○)
放射光、超伝導、スピン、物性・生命異分野融合、高輝度小型放射光源、人材育成
<http://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp/>

93 愛媛大学 地球深部ダイナミクス研究センター (○)
超高压実験、第一原理鉱物物性計算、地球ダイナミクス、マントル、核、相転移、レオロジー、地球深部水、スーパーアース、ダイヤモンド、新物質合成
<https://www.grc.ehime-u.ac.jp/>

94 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター (○)
生物環境試料バンク、内分泌かく乱化学物質、生態影響、環境毒性学、ワンヘルス、東南アジア、沿岸海洋、低次生態系
<http://www.cmes.ehime-u.ac.jp/>

96 高知大学 海洋コア国際研究所 (○)
地球掘削科学、古海洋学、層序学、地球化学、古地磁気学
<http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/index.html>

98 九州大学 応用力学研究所 (○)
応用力学、核融合力学、新エネルギー力学、地球環境力学
<https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/>

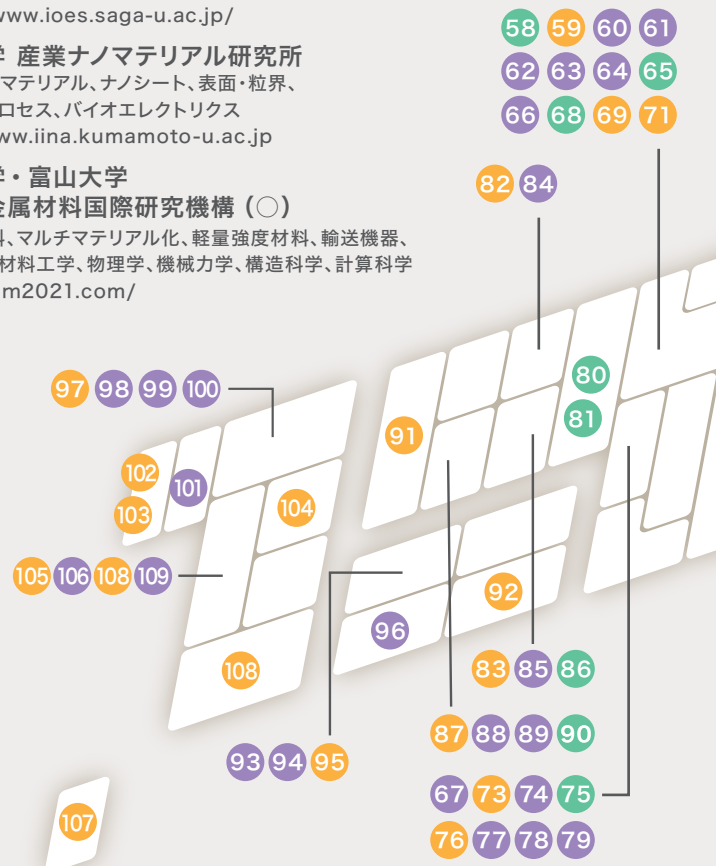
99 九州大学 先端物質化学研究所 (○)
物質化学、ソフトマテリアル、機能材料、炭素材料、先端素子材料、エネルギーデバイス
<http://www.cm.kyushu-u.ac.jp/>

100 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 (○)
産業数学、数学、数理科学、統計学
<https://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>

101 佐賀大学 海洋エネルギー研究所 (○)
海洋エネルギー、海洋温度差発電、波力発電、潮流発電、洋上風力発電、再生可能エネルギー
<https://www.ioes.saga-u.ac.jp/>

106 熊本大学 産業ナノマテリアル研究所
二次元ナノマテリアル、ナノシート、表面・粒界、AI、爆発プロセス、バイオエレクトロニクス
<http://www.iina.kumamoto-u.ac.jp>

109 熊本大学・富山大学 先進軽金属材料国際研究機構 (○)
軽金属材料、マルチマテリアル化、軽量強度材料、輸送機器、生体材料、材料工学、物理学、機械力学、構造科学、計算科学
<https://ilm2021.com/>



センター部会別一覧

Institutes and Centers of
National Universities

2

医学・生物学系
第2部会の研究所・研究センター
Medical and Biology



2025年度 第2部会長
長崎大学
熱帯医学研究所長
金子 修

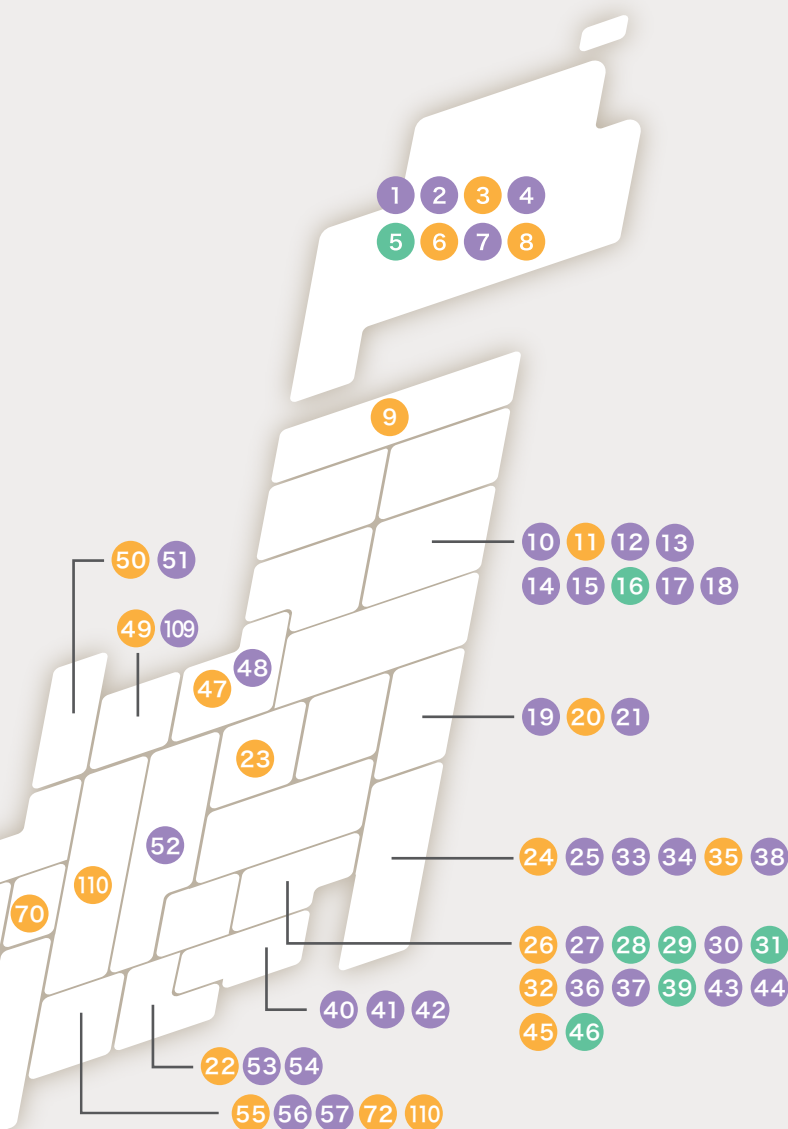
第2部会シンポジウム

令和7年11月14日(金)

担当:新潟大学 脳研究所

- 3 北海道大学 遺伝子病制御研究所 (○)
感染癌、免疫学、感染症、腫瘍、炎症、基礎医学、生命科学
<https://www.igm.hokudai.ac.jp/>
- 6 北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所 (○)
人獣共通感染症、予防・診断・治療法の開発、
グローバルサーベイランス、アジア・アフリカ、One Health
<https://www.czc.hokudai.ac.jp/>
- 8 帯広畜産大学 原虫病研究センター (○)
原虫病、ベクター、WOAH コラボレーティングセンター、
アジア・アフリカ、獣医学
<https://www.obihiro.ac.jp/facility/protozoa/>

- 20 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター (○)
遺伝資源、遺伝子組換え植物、ゲノム編集植物、特定網室、
環境影響試験圃場、リスク分析、LMO/GMO理解増進
<https://www.t-pirc.tsukuba.ac.jp/>
- 22 筑波大学 下田臨海実験センター
海洋生物学、生物多様性、進化発生系統、海洋生態、海洋環境、海洋酸性化
<http://www.shimoda.tsukuba.ac.jp/>
- 23 群馬大学 生体調節研究所 (○)
内分泌・代謝、生活習慣病、細胞生物学、ゲノム・エピゲノム解析
<https://www.imcr.gunma-u.ac.jp/>
- 24 千葉大学 真菌医学研究センター (○)
病原真菌・放線菌、臨床感染症、免疫、病原真菌・放線菌バイオリソース
<http://www.pf.chiba-u.ac.jp>
- 26 東京大学 医科学研究所 (※)
感染症、がん、免疫、ヒトゲノム、AI 医科学、再生医療、遺伝子・細胞治療、
トランスレーショナル・リサーチ、ELSI
<https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/imsut/jp/>
- 32 東京大学 定量生命科学研究所
構造生物学、ゲノム科学、脳科学、免疫、感染、小分子 RNA、オープンサイエンス
<https://www.iqb.u-tokyo.ac.jp/>
- 35 東京大学 大気海洋研究所 (○)
海洋、大気、地球科学、気候変動、海洋生物資源、地球生命圏
<https://www.aori.u-tokyo.ac.jp/>
- 45 東京科学大学 総合研究院 難治疾患研究所 (○)
難治疾患、基礎生物学、病態制御科学、バイオデータ科学、先端分子医学
<https://www.tmd.ac.jp/mri/>
- 47 新潟大学 脳研究所 (○)
基礎・臨床神経学、精神神経疾患、バイオリソース、統合脳機能、神経病理学、
ヒト脳科学、システム脳病態学、進化脳病態
<https://www.bri.niigata-u.ac.jp/>
- 49 富山大学 和漢医薬学総合研究所
和漢薬、伝統薬物、漢方医学、薬用資源開発、天然物化学、神経変性疾患、生体防御、
生活習慣病、未病、データベース
<https://www.inm.u-toyama.ac.jp>
- 50 金沢大学 がん進展制御研究所 (○)
発がん、悪性化、がんモデル、微小環境、幹細胞、分子標的
<https://ganken.cri.kanazawa-u.ac.jp/>
- 55 名古屋大学 環境医学研究所
ストレス受容・応答、生体適応・防御、脳神経系、内分泌、代謝、
ゲノム制御、新規治療・創薬
<http://www.riem.nagoya-u.ac.jp/>
- 59 京都大学 医生物学研究所 (○)
ウイルス学、生命科学、分子生物学、細胞生物学、組織再生、幹細胞、
医工学、再生医療、免疫学
<https://www.infront.kyoto-u.ac.jp/>
- 69 京都大学 iPS細胞研究所
iPS細胞、再生医療、幹細胞
<https://www.cira.kyoto-u.ac.jp>
- 70 京都大学 生態学研究センター (○)
生態系、生物多様性、生物間相互作用、琵琶湖、熱帯林
<https://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/>
- 71 京都大学 野生動物研究センター (○)
野生動物、フィールドワーク、動物園・水族館、絶滅危惧種、保全
<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>
- 72 京都大学 ヒト行動進化研究センター
霊長類学(脳機能、認知機能、生体機構、ゲノム、モデル動物)
<https://www.ehub.kyoto-u.ac.jp/>



- 9 弘前大学 被ばく医療総合研究所 (○)
放射線(能)計測、物理線量評価、生物学的線量評価、放射線生物学、
環境保健科学、環境放射生態学、環境動態、分析化学、
被ばく医療体制、リスクコミュニケーション、人材育成
<http://irem.hirosaki-u.ac.jp>
- 11 東北大学 加齢医学研究所 (○)
加齢制御、腫瘍制御、脳科学、環境ストレス老化、スマート・エイジング、医療機器開発
<http://www.idac.tohoku.ac.jp/>

第3部会シンポジウム

令和7年10月4日(土)

担当:東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所

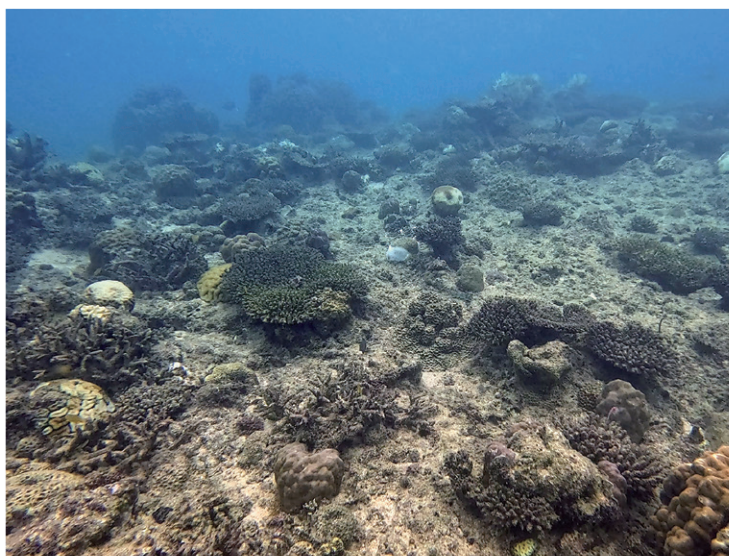
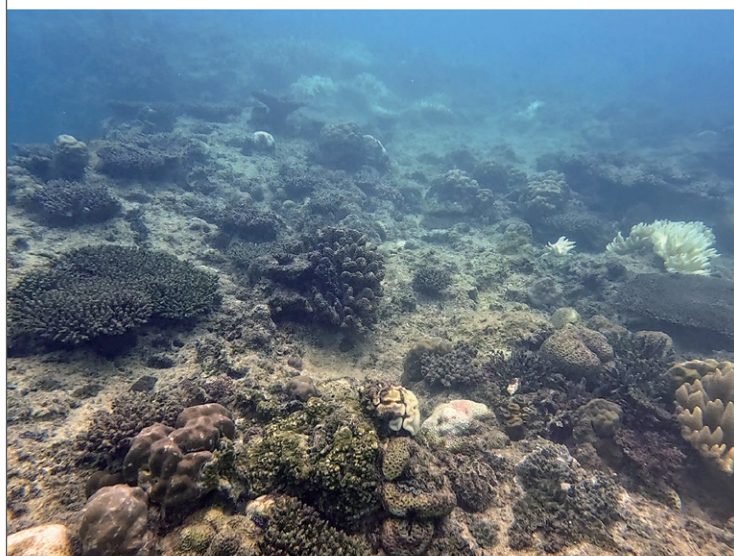


2025年度 第3部会長
東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所長
近藤 信彰

- 73 大阪大学 微生物病研究所 (○)**
感染症、免疫、がん、老化、基礎生物学、バイオインフォマティクス、海外拠点
<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/>
- 76 大阪大学 蛋白質研究所 (○)**
蛋白質科学、構造生物学、基礎生物学、蛋白質合成・デザイン、システム生物学、蛋白質情報科学
<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>
- 82 鳥取大学 国際乾燥地研究教育機構 (○)**
乾燥地科学、砂漠化、干ばつ、ダスト、環境修復
<https://www.ipdre.tottori-u.ac.jp/>
- 83 岡山大学 資源植物科学研究所 (○)**
環境ストレス、遺伝資源、ゲノム育種、植物生理、植物栄養、植物病理、生物間相互作用
<https://www.rib.okayama-u.ac.jp/>
- 87 広島大学 原爆放射線医科学研究所 (○)**
原爆被爆者、放射線障害、被ばく医療、放射線発癌、ゲノム損傷修復、再生医学、医療放射線被ばく
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/rbm>
- 91 山口大学 細胞デザイン医科学研究所**
デザイナー細胞、ゲノム編集、医獣トランスレーショナルリサーチ
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~celldesign/>
- 92 徳島大学 先端酵素学研究所 (○)**
医科学、先端酵素学、糖尿病、がん、免疫疾患、慢性炎症、ゲノム、プロテオーム、ゲノム編集、創薬イノベーション
<https://www.iams.tokushima-u.ac.jp/>
- 95 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター (○)**
複合体タンパク質、インタラクトーム、タンパク質相互作用解析、無細胞タンパク質合成、近位依存性ピオチン化酵素、薬剤スクリーニング、薬剤標的探索、感染症
<https://www.pros.ehime-u.ac.jp/>
- 97 九州大学 生体防御医学研究所 (○)**
多階層生体防御システム、高深度オミクス、データ駆動型サイエンス、構造生物学、情報生物学、システム免疫学、がん生物学、発生再生医学、アレルギー学
<https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp>
- 102 長崎大学 熱帯医学研究所 (○)**
熱帯医学、感染症、熱帯公衆衛生学、国際保健、ケニア・ベトナム拠点、熱帯医学ミュージアム
<https://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/nekken/>
- 103 長崎大学 原爆後障害医療研究所 (○)**
放射線影響学、被ばく医療、ゲノム学、腫瘍学
<https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/index-sjis.html>
- 104 大分大学 グローカル感染症研究センター**
感染症、消化器感染症、ピロリ菌、人獣共通感染症、One Health
<https://www.oita-glocal.jp/>
- 105 熊本大学 発生医学研究所 (○)**
発生制御、幹細胞、器官構築、臓器再建
<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>
- 107 琉球大学 熱帯生物圏研究センター (○)**
亜熱帯島嶼、サンゴ礁、マングローブ、生物多様性、共生、遺伝資源、感染症
<https://tbc.skr.u-ryukyu.ac.jp/>
- 108 熊本大学・鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター**
ウイルス学、感染免疫、HIV-1/AIDS、HTLV-1/ATL/HAM、SARS-CoV-2/COVID-19、HBV/Hepatitis B、抗ウイルス薬、ワクチン開発、中和抗体、細胞性免疫、感染動物モデル
<https://jrcrvi.jp/>
- 110 名古屋大学・岐阜大学 糖鎖生命コア研究所 (○)**
糖鎖、グライコミクス、グライコプロテオミクス、第三の生命鎖、拡張セントラルドグマ、生命科学、糖鎖情報、ヒューマングライコームプロジェクト
<https://igcore.thers.ac.jp/>
- 5 北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター (○)**
スラブ・ユーラシア地域研究、ロシア、シベリア・極東、中央ユーラシア、東欧、地域比較、境界研究
<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/index.html>
- 16 東北大学 東北アジア研究センター**
東北アジア地域研究、文理連携、自然史、歴史文化、国際関係、環境資源、応用・社会連携
<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>
- 28 東京大学 東洋文化研究所**
東洋文化、アジア研究のアジア化と普遍化、Global Asian Studies
<https://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/>
- 29 東京大学 社会科学研究所**
社会科学の総合知、現代日本社会研究、全所プロジェクト研究、社会調査・データアーカイブ、Social Science Japan Journal、地域力創発デザイン
<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 31 東京大学 史料編纂所 (○)**
歴史学、日本史、歴史情報学、文献研究、文化財、史料学
<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/index-j.html>
- 39 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 (○)**
少数言語の記録・保存、中東・イスラーム圏、文化人類学、情報資源利用研究、フィールドサイエンス
<http://www.aa.tufs.ac.jp/>
- 46 一橋大学 経済研究所 (○)**
経済制度、公的統計マイクロデータ、高度実証分析拠点、世代間問題、長期経済統計
<https://www.ier.hit-u.ac.jp/>
- 58 京都大学 人文科学研究所 (○)**
人文学、人類学、社会学、情報学、科学史、中国学、東洋学、現代中国研究
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>
- 65 京都大学 経済研究所 (○)**
複雑系経済学、経済変動、ゲーム理論、組織と戦略
<https://www.kier.kyoto-u.ac.jp>
- 68 京都大学 東南アジア地域研究研究所 (○)**
持続型生存基盤研究、文理融合アプローチ、フィールド・サイエンス、相關型地域研究、地域情報学
<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp>
- 75 大阪大学 社会経済研究所 (○)**
行動経済学、経済実験、経済政策、制度設計
<https://www.iser.osaka-u.ac.jp/>
- 80 神戸大学 経済経営研究所**
グローバル経済、企業競争力、企業情報、グローバル金融
<https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/>
- 81 神戸大学 計算社会科学研究所**
計算社会科学
<http://ccss.kobe-u.ac.jp/>
- 86 岡山大学 文明動態学研究所**
人類の誕生と文明の形成、社会の複雑化と地域社会の形成、日本社会の縮図としての瀬戸内
<https://ridc.okayama-u.ac.jp/>
- 90 広島大学 高等教育研究開発センター**
高等教育研究、大学改革、大学のガバナンス、高等教育政策、大学教授・専門職、IR 方法論、研究倫理
<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>

(○) 共同利用・共同研究拠点

(※) 国際共同利用・共同研究拠点



表紙：広島原爆被爆者のスライド標本

原爆後、広島大学医学部は「新型爆弾」の人体影響の解明に臨み、被災で亡くなった方の解剖を行ったが、そのスライド標本や成果はアメリカに接収され、研究発表も制限された。このスライド標本は1970年代に返還され、広島大学原爆放射線医学科学研究所で保管されている。80年経ってもスライドが色あせないように、原爆の実相究明もまた終わらない。

(広島大学 原爆放射線医学科学研究所)

裏表紙：2024年に起きたサンゴの大規模白化

(上2枚) 2024年8月に琉球大学瀬底研究施設前で観察されたサンゴの白化。
(下2枚) 同年11月の様子。多くのサンゴは死滅し、黒色の微細藻類に覆われている。

白いサンゴは白化から回復途中のもの。

(琉球大学 熱帯生物圏研究センター) (撮影：野澤洋耕)

「国立大学附置研究所・センター会議」は、
全国の国立大学の研究所・センターの所長・センター長が協力して
日本の学術研究を発展させることを目的とした組織です。

組織紹介

35の国立大学の110の研究所・研究センターで構成されています。

所属教員数は3,600名を超えます。

理工系中心の第1部会(57研究所・センター)、
医学・生物系中心の第2部会(38研究所・センター)、
人文・社会系中心の第3部会(15研究所・センター)からなります。

主な活動

- 各研究所・センター間の学術交流と情報交換
- 文部科学省との情報交換
- 学術研究政策に対する問題提起や提言
- 研究所・センターが行っている研究の広報
- 最先端研究を紹介するためのシンポジウムの開催